

# 2023年9月期(第21期) 決算説明補足資料

アイビーシー株式会社

証券コード 3920

2023年 12月 7日





# AGENDA

- 1 第21期 連結決算概要
- 2 第21期 トピックス
- 3 第22期 今後の展望
- Appendix

1

# 第21期 連結決算概要



## ● 第21期 連結決算概要

(単位：百万円)

	22/9期 連結累計期間	23/9期 連結累計期間	前年同期比	23/9期 連結予想	進捗率
売上高	1,501	1,900	+26.6%	1,900	0.0%
売上総利益	1,024	1,336	+30.4%	—	—
販売管理費	1,072	1,123	+4.8%	—	—
営業利益 (利益率)	△48 (△3.1%)	212 (11.1%)	—	200 (10.5%)	6.0%
経常利益	△22	234	—	220	6.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	△17	* 70	—	147	△52.3%

- 半導体不足やコロナ禍によるサーバーやネットワーク機器の納期問題が回復傾向となり、「System Answer シリーズ」案件およびネットワークの見直しやセキュリティ対策等の伸長により増収増益。

\* 2023年9月期第4四半期会計期間において、当社が保有する投資有価証券の評価が急速に減少し、その財政状態や今後の見通しについて検討した結果、投資有価証券評価損として94百万円を特別損失として計上。

## ● 第21期 売上内訳（単体）

（単位：百万円）

	22/9期	23/9期	前年同期比
ライセンスの販売	632	844	+33.5%
サービスの提供	465	621	+33.5%
その他物販等	288	284	△1.4%
合計	1,387	1,750	+26.2%

### ライセンス・サービス売上は伸長、物販売上はコア領域集中により微減。

#### ■ ライセンスの販売

ハードの納期問題が回復傾向となり新規案件の獲得が大幅に伸長。「System Answerシリーズ」の機能拡張を機とした既存顧客へのサポート強化等の施策や昨年度より実施していたパートナービジネスの強化が功を奏し33.5%増。

#### ■ サービスの提供

System Answerから抽出した既存ITインフラの課題から、昨年度より強化したインテグレーションビジネスを中心に、ネットワークの見直しやセキュリティ対策等のビジネス案件等の売上が堅調に推移し33.5%増。

#### ■ その他物販等

当社コア領域に関連する物販に集中することでセキュリティ関連物販を中心に拡大するものの、コア領域以外の物販減少により1.4%減。

# ● 分析 - 20期売上との比較① (IBC単体)

(単位：百万円)

## <売上の内訳>

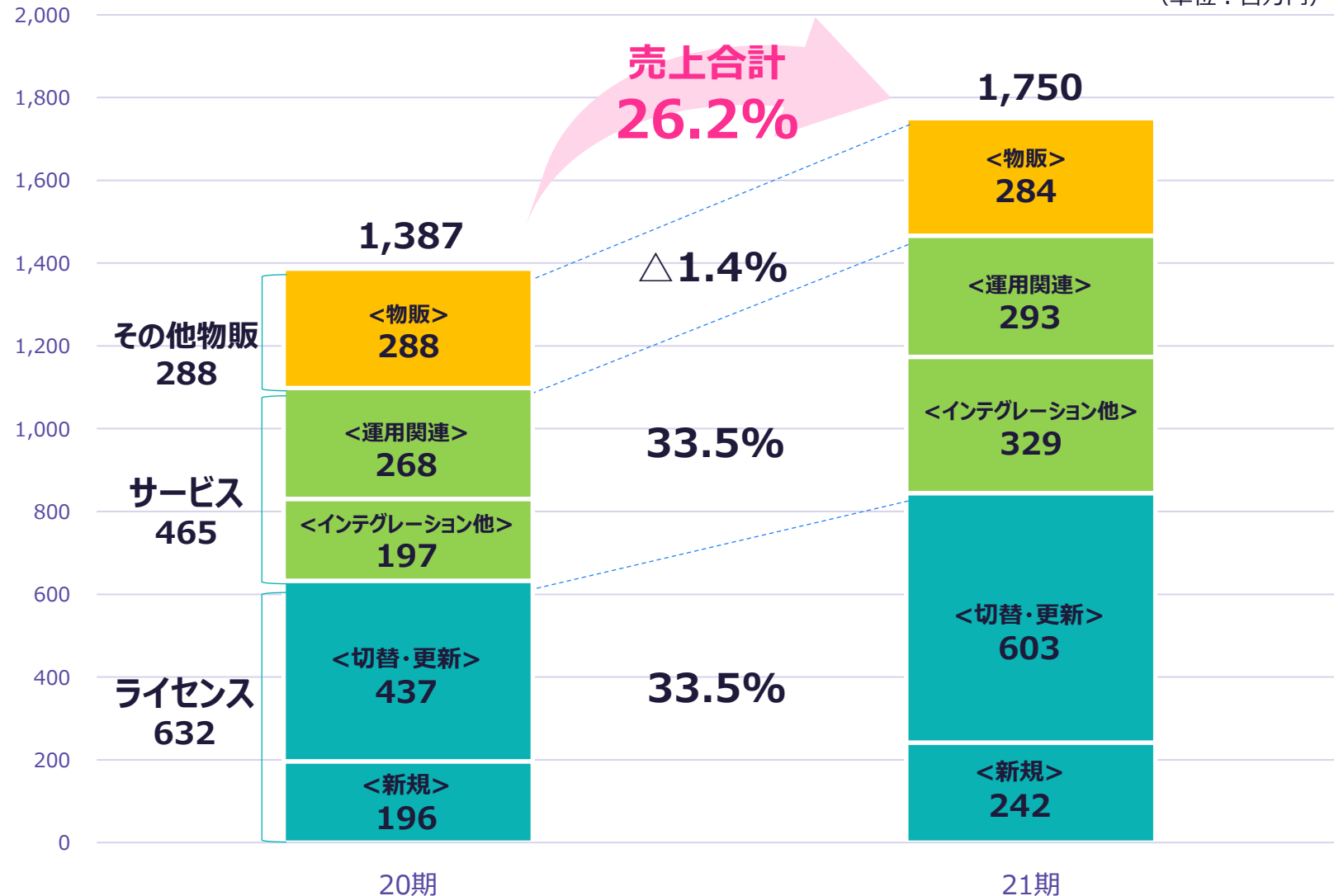
■ 21期売上1,750百万円は  
対前年比**26.2%**伸長

### ライセンスの販売

**切替・更新および新規ともに伸長し**  
売上が**33.5%**増

### サービスの提供

ネットワークの見直しやセキュリティ対策  
などの**インテグレーション事業が拡大**  
し売上が**33.5%**増



# ● 分析 - 20期売上との比較 (IBC 単体)

(単位：百万円)

## <フロー/ストックの内訳>

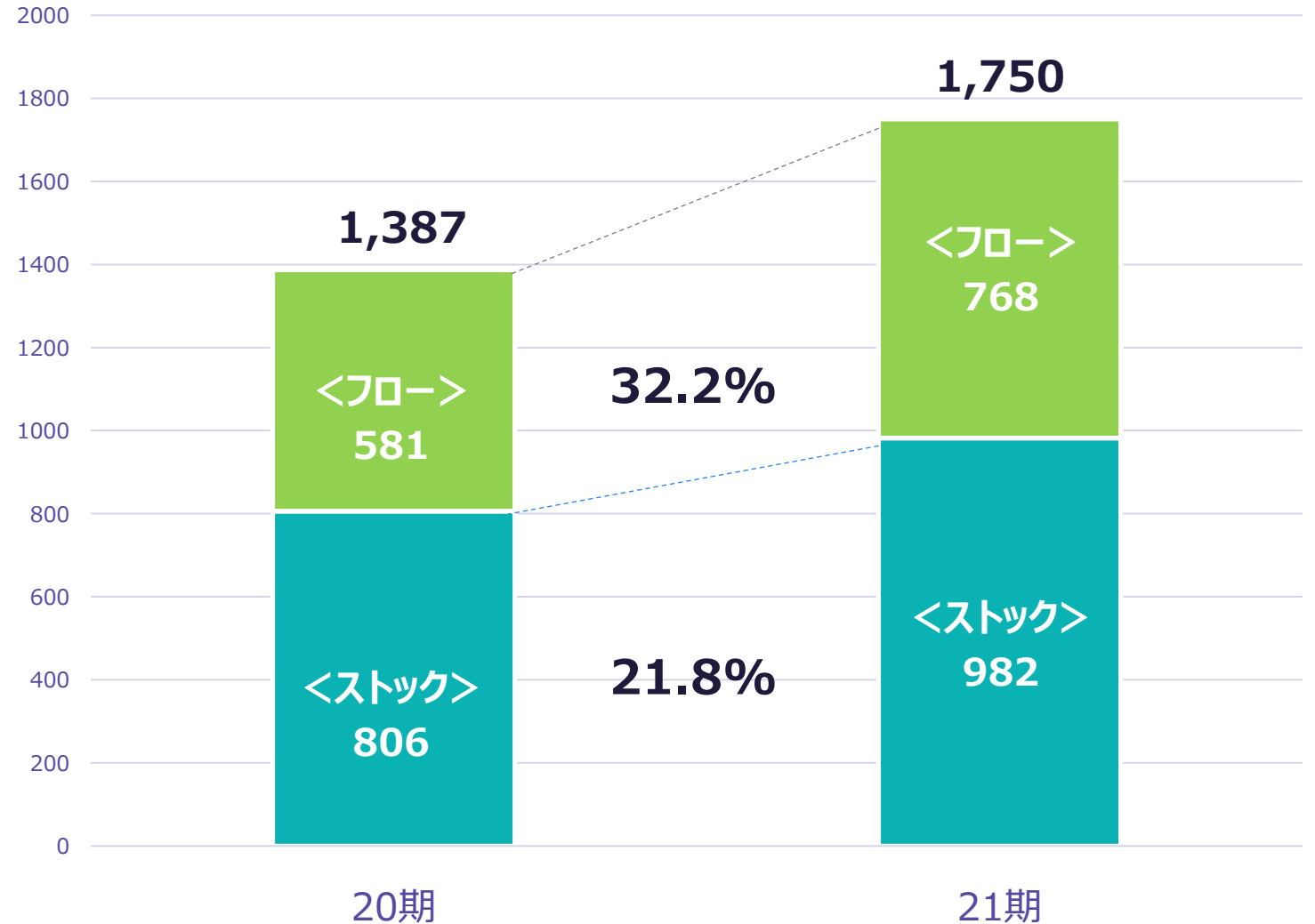
- **ストック**売上の増加 (21.8 %) に伴う経営の安定化

### フロー

初期設定作業等、次年度更新がない今期だけの売上

### ストック

ライセンス販売や保守等、次年度以降も更新売上が見込まれる売上



## ● 第21期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	22/9期末連結	23/9期末連結	前期末差額
<b>流動資産</b>	2,200	2,332	+132
（内、現金及び預金）	1,406	1,621	+215
<b>固定資産</b>	1,055	931	△124
<b>資産合計</b>	3,255	3,264	+9
<b>流動負債</b>	1,251	1,378	+127
<b>固定負債</b>	173	57	△116
<b>負債合計</b>	1,424	1,436	+12
<b>株主資本</b>	1,724	1,772	+48
<b>その他</b>	106	54	△52
<b>純資産合計</b>	1,830	1,827	△3
<b>負債純資産合計</b>	3,255	3,264	+9

- 資産：現預金215百万円増加の一方、投資有価証券157百万円減少などにより前年差+9百万円
- 負債：未払金および未払法人税等102百万円増加の一方、長期借入金109百万円減少などにより前年差+12百万円
- 純資産：利益剰余金48百万円増加の一方、その他有価証券評価差額金51百万円減少によりは前年差△3百万円



# ● 第21期 連結キャッシュフロー

(単位：百万円)

	22/9期 連結	23/9期 連結	前年同期差額
営業キャッシュ・フロー	342	431	+88
投資キャッシュ・フロー	△199	△76	+123
財務キャッシュ・フロー	△42	△139	△97
現預金残高	1,406	1,621	+215
配当金（円）	4.0	6.0	+2.0

## ■ 連結キャッシュフロー

営業キャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益増加、減価償却費の計上及び法人税等の還付によるものです。

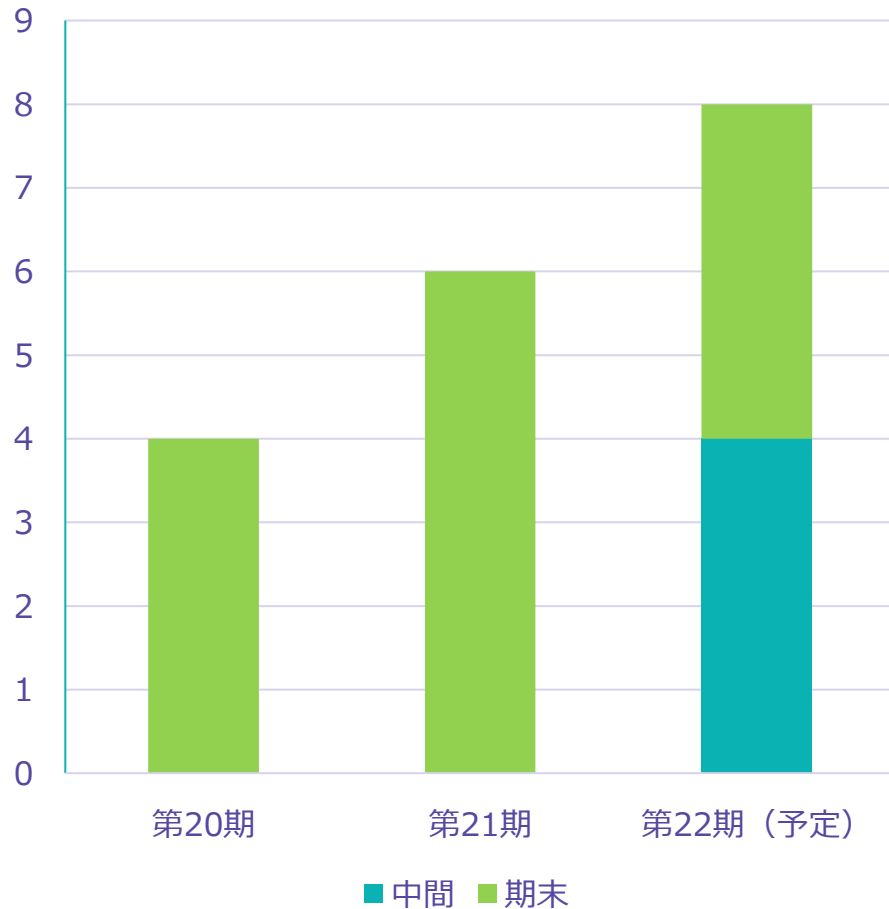
投資キャッシュ・フローは、無形固定資産の取得及び保険積立金の支出によるものです。

財務キャッシュ・フローは、長期借入金の返済及び配当金支払による支出によるものです。

## ■ 配当

- ・ 22/9期は当社創業20周年記念として1株あたり4.0円、23/9期は2円増配の6.0円を予定。

直近3年間の1株あたりの配当金額



- 第20期は、創立20周年記念として、1株あたり、4円配当しました。
- 第21期は、2円増配として、1株あたり、6円配当とします。
- 第22期は、中間配当と期末配当の年2回配当を基本とし、1株あたり、中間配当4円、期末配当4円の年間8円配当とし、前年比+2円の増配を予定しております。

今後も持続的な利益成長に応じて、株主の皆様へ利益還元の機会を充実させる方針です。

2

第21期  
トピックス



## 1 「IT障害をゼロにする」ための商品強化

- ダイナミックブックマーク（相関分析）機能
- トラブルシューティングアシスタント機能
- CX（カスタマーエクスペリエンス）監視オプション
- IT障害119サービス
- セキュリティ分野でのサポート領域拡大

## 2 イベント

- Interop Tokyo 2023 出展 / ShowNet 参加
- IBC Day 2023 開催

## 3 アイビーシー自身のDX

- DXの推進指標の自己評価
- ホームページの強化と効果

## 4 CSR活動の強化

- ワークライフバランスの推進
- 障がい者の自立支援活動への協力



## ● ダイナミックブックマーク（相関分析）機能

### 障害発生時の問題切り分け時間を大幅に短縮

障害対応時に行われていた人的オペレーションを、System Answer G3が代行します。

相関係数分析を用いて、アラートが発生した事象と関係性が高いデータを一画面上に自動表示します。

#### 従来



#### ダイナミックブックマーク機能を用いると



**この時間を  
まるごと削減！**



## ● トラブルシューティングアシスタント機能

### 21年間培ったアイビシーの性能分析ノウハウを機能化

障害が発生した際、問題解決に必要な質問をSystem Answer G3が問い掛けます。

その質問に回答していくことで、発生している障害の想定される原因を提示します。他社の製品にはない、System Answer G3ならではのオンリーワンの機能です。



ユーザー

〜〜〜ですか？

回答

〜〜〜ですか？

回答

**想定される原因は〜〜**



System Answer G3



## ● CX（カスタマーエクスペリエンス）監視オプション

### ユーザーが体感しているネットワーク品質を可視化し、 ボトルネック箇所の特定を迅速化

働き方改革によりWeb会議の利用頻度がますます増加する中、多くの企業様が抱えている以下のような課題や悩みを解決します。

- 通信遅延が発生し、画面の表示までに時間がかかる
- 音声がよく途切れてしまい、ストレスを抱えながら打ち合わせをしている
- トラブルが発生しても原因が分からず、対策ができない





## ● IT障害119サービス

### 「どこに相談したらよいかわからない」に寄り添う新サービス

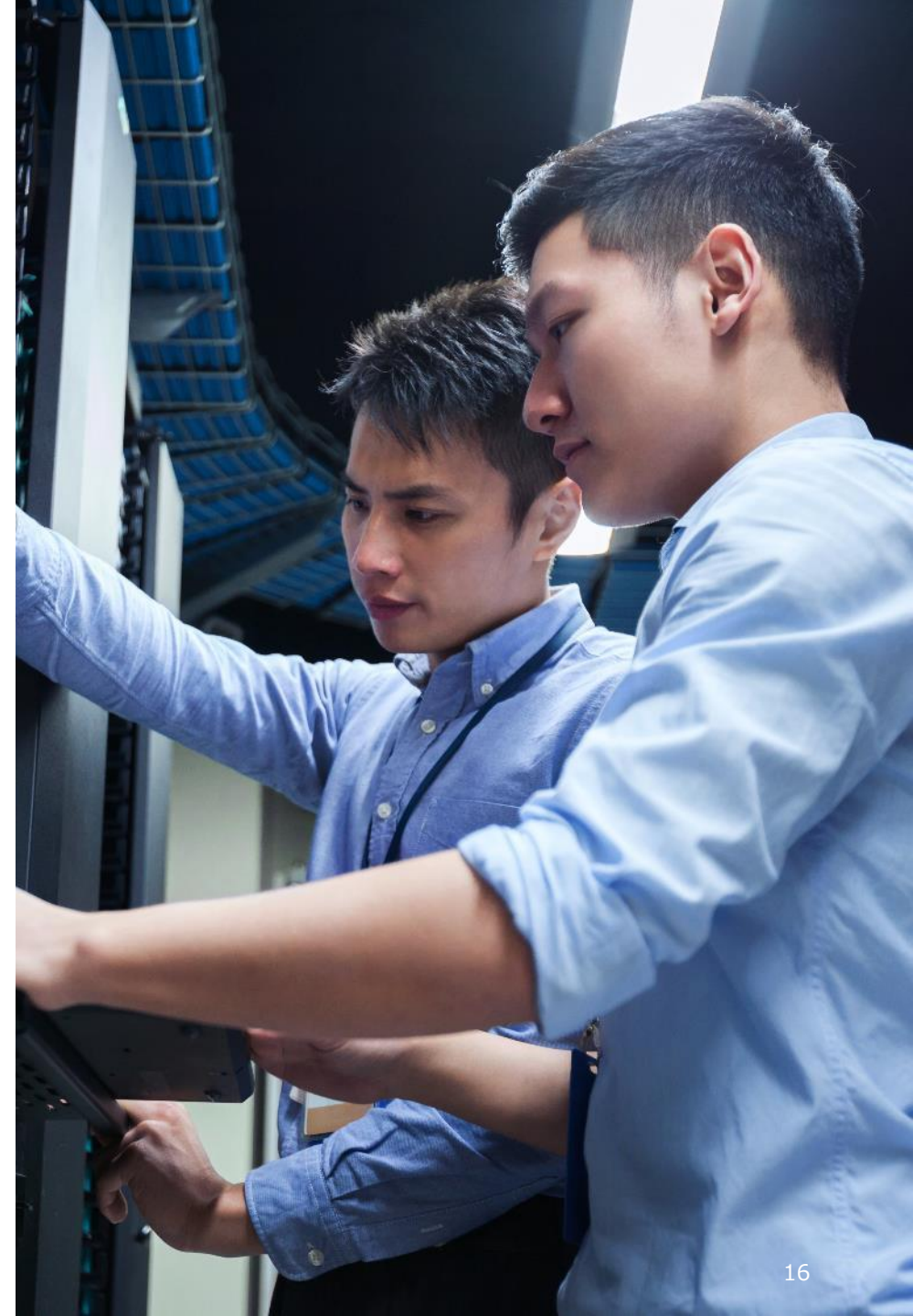
当社の次世代MSPサービス「SAMS」ユーザー様に限定していたIT 障害に関する悩みを解決する緊急障害対応支援サービスを、すべてのお客様に拡大しました。

- トラブルの解決に時間がかかってしまった
- 今後のネットワークの相談できる人がいない
- セキュリティインシデントが発生した際の初動対応に不安がある
- 根本原因が不明のまま自然復旧した事象がいつ再発するか分からず不安

どなたでも  
ご利用可

24時間  
365日  
受付対応

よろず相談  
対応





# ①「IT障害をゼロにする」ための商品強化

## ● セキュリティ分野でのサポート領域拡大

お客様の求めるレベルのセキュリティ対策を、より手厚く、一気通貫でご支援可能になりました。



② イベント

Interop<sup>TM</sup>23 出展 / SHOWNET Refine the Technologies 参加  
Tokyo JUNE 14-16 MAKUHARI MESSE, JAPAN

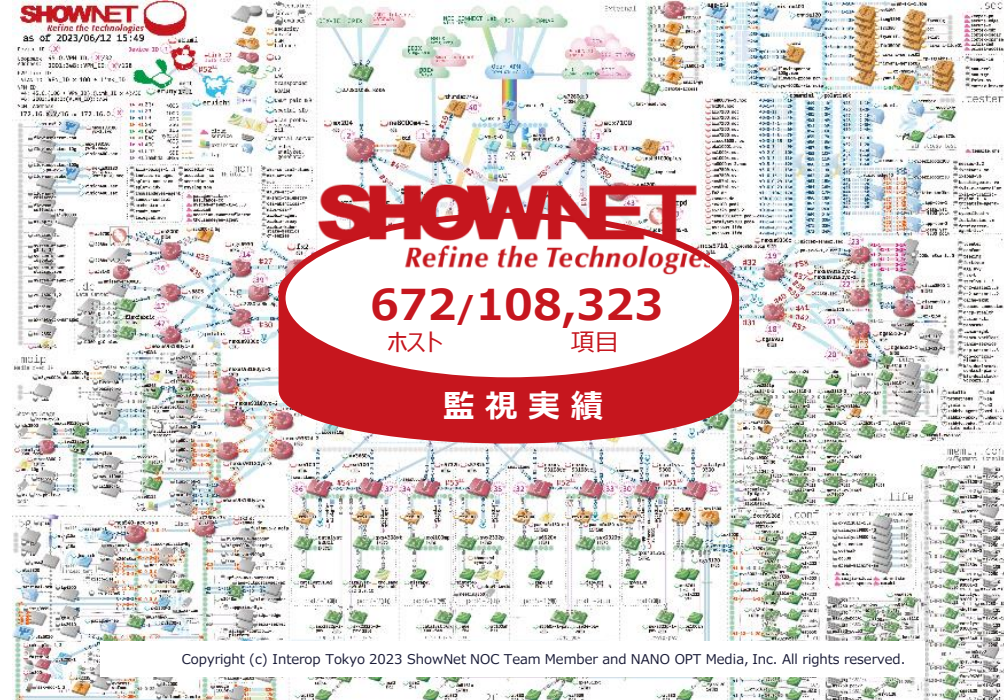
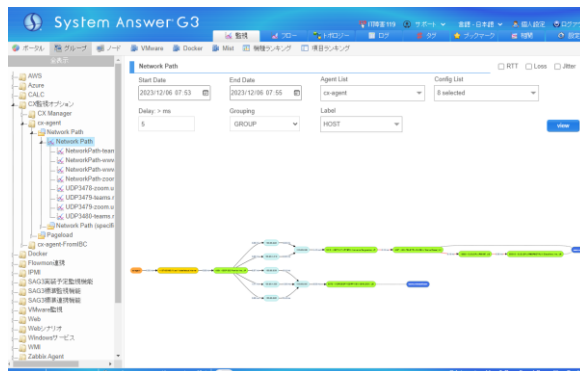
Interop Tokyo 2023 に出展

世界最大級のライブデモイベントであるInterop 全体のITインフラ（全出展社）の運用・監視をアイビーシーで対応（372サーバー/108,323監視項目の監視）。

Best of Show Award ~審査員特別賞~受賞



CX（カスタマーエクスペリエンス）監視オプションが技術的高評価を受け、審査員特別賞を受賞。





2023年11月17日（金）に、東京国際交流館プラザ平成にて「IBCとお客様で実現する“IT障害ゼロ”の世界」をテーマとした、アイビーシー初となるプライベート展示会を実施。



**Seminar** -活用事例から見えるIT障害ゼロの未来  
 ヤマトシステム開発株式会社、日野市、JR東日本情報システム株式会社に登壇いただき、各業界ならではの活用方法を事例を交えてお話しいただきました。

**Exhibition** -最新ソリューションの体験  
 協賛企業5社とともに、アイビーシーの最新ソリューション・製品の展示およびデモンストレーションを行いました。



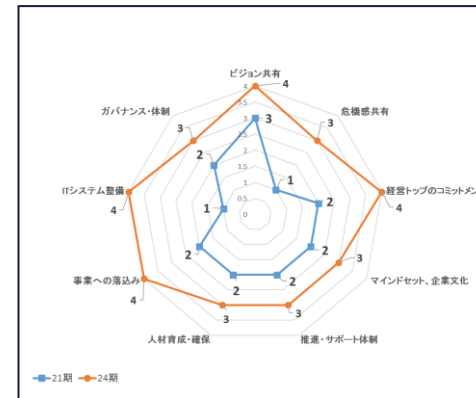
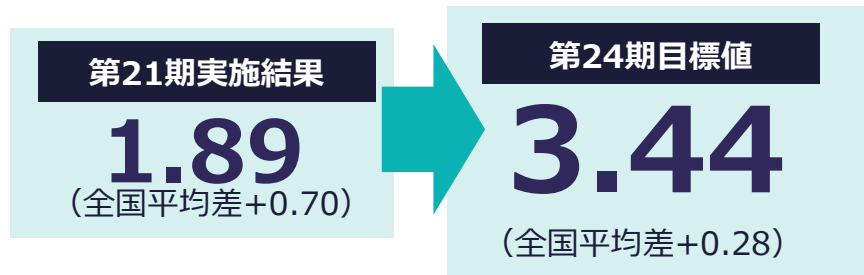
## お客様の声

- セミナーでは、**実際の運用現場**の方から活用状況などの詳細を**生の声**として聞くことができ、非常に参考になった。  
【製造業：情報システム部】
- 公共の方の製品選定の決め手・上申の際のポイントまで聞け、**次回の提案にすぐに役に立つ**情報が得られた。  
【SI企業：公共システム担当】
- 来場者の殆どが情報システム部門で運用に携わる方のため、製品説明をされていて話が盛り上がることも多く、**時間を忘れてしまうほどの有意義な時間**でした。  
【ITメーカー：営業部門】

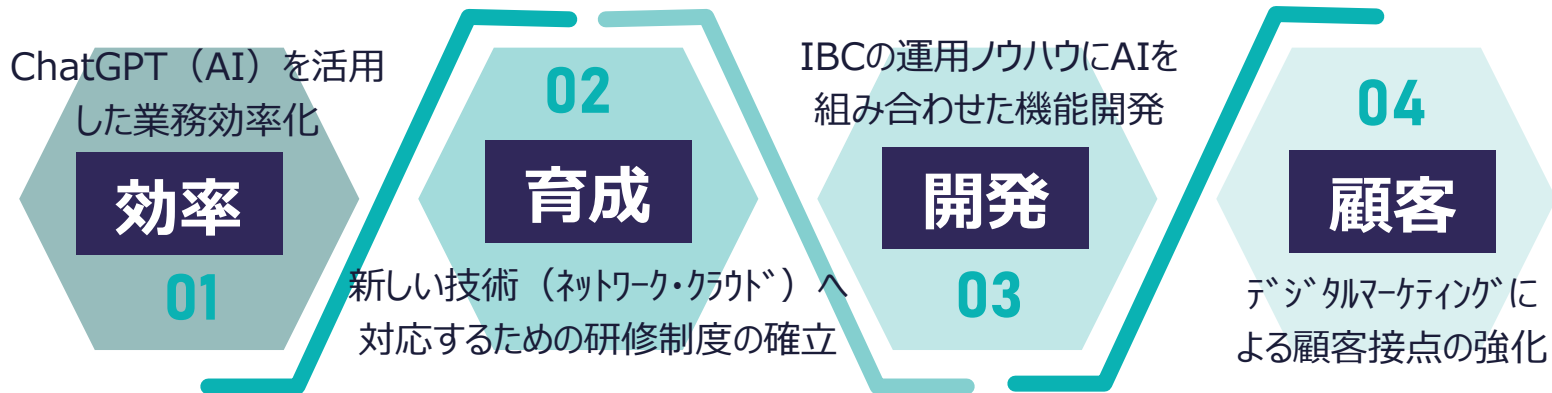
### ③アイビーシー自身のデジタルトランスフォーメーション

## ● DXの推進指標の自己評価

アイビーシー自身のDXの進捗指標として、経済産業省がとりまとめた、『デジタル経営改革のための評価指標（DX推進指標）』を採用。中期計画と連動させて、全国平均を上回るデジタル先進会社に経営サイドが推進して参ります。



### 第22期の主な取り組み





### ③アイビーシー自身のデジタルトランスフォーメーション

## ● ホームページの強化と効果

### イメージキャラクターの採用

#### 幅広い年代層のお客様にアプローチ

2023年2月より、小泉今日子氏を企業のイメージキャラクターとして採用しました。

IT 障害をゼロにする  
システム機器の監視数 1,800万 項目以上の  
IT システム情報管理 / 性能監視ツール

国内 1,000 社以上の導入実績！

IT システム情報管理ソフトウェア  
System Answer G3

次世代 MSP サービス  
SAMS

### 新コンテンツ拡充「デジマケ女子部」

#### 難しいITの世界を柔らかく紐解くコンテンツ

ITに詳しくない方でも気軽に読めるコンテンツとして、多くのお客様にご好評いただいております。

DigiMarke  
女子部

おカタい IT の世界、やわらかく紐解きます。

◆ 記事一覧 ◆

- 先輩!教えてください!  
23新卒が22新卒の  
先輩に聞いてみた♡  
入社が決める手は福利厚生!?  
休日は麻雀三昧!?  
上司はバスケ!?  
まさに外国!?  
安心感!?
- 3分でわかる  
監視ツール
- アオアシから学ぶ IT 人材育成

23 新卒が 22 新卒の先輩に聞いてみた！ 3 分でわかる監視ツール アオアシから学ぶ IT 人材育成

### ③アイビーシー自身のデジタルトランスフォーメーション

## ● ホームページの強化と効果



Webサイト 来訪者数



資料DL / 問い合わせ数

# ● ワークライフバランスの推進

従業員がイキイキとメリハリのある働き方のできる職場づくりを目指して、厚生労働省の「プラチナくるみ人認定」を2年後に取得することを目標とし、取得に向けた「両立支援のひろば」への行動計画を公表。

21期の  
具体的  
活動

### 時短勤務の適用拡大

3歳  
まで

年齢の  
制限を  
撤廃

女性社員の  
産休・育休取得/職場復帰率

100%

22期  
の計画

### 男性の育児に関する 休暇取得推進

- ・看護休暇の有休化
- ・学校行事参加休暇の検討



### 全従業員の 残業時間の削減

- ・ノー残業デーの実施
- ・フレキシブルな働き方実現のための制度検討





## ④ CSR活動の強化

### ● 障がい者の自立支援活動への協力

『障がい者に月収10万円を』という目標を掲げる就労支援B型事務所「AlonAlon オーキッドガーデン」は、贈答用胡蝶蘭の栽培事業を展開しています。

購入されたお花の代金は、この施設で働く障害を持った方々の所得となります。



アイビーシーはこの取り組みに賛同し、  
胡蝶蘭を贈る際は  
AlonAlonで購入をしています。

株主の皆様大切な方へのお祝いの際も、  
AlonAlonで社会貢献のできるお花を贈ってみてはいかがでしょうか？





3

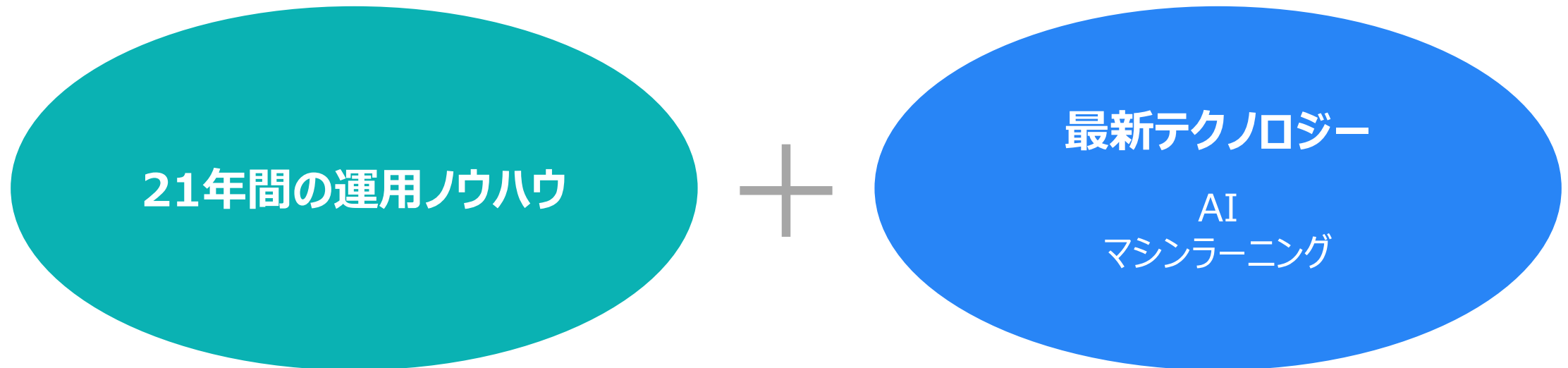
# 第22期 今後の展望



## ● IT障害ゼロを目指す新たな取り組み - AIを活用した故障個所推定 -

障害とは、単純な問題から様々な事象が複雑に絡まり起こるケースもあります。

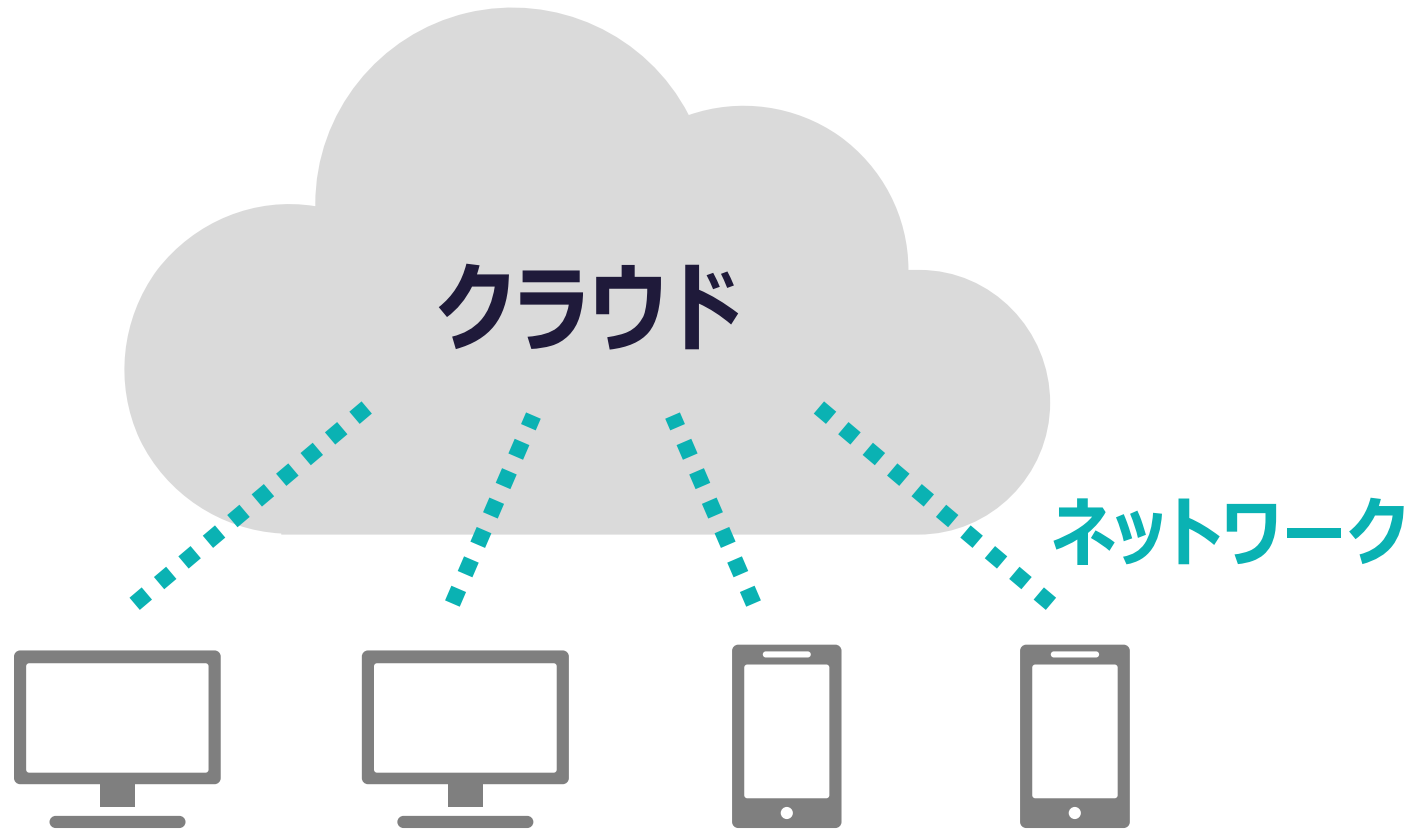
アイビーシーでは、**21年間蓄積した運用ノウハウ**と**最新のテクノロジー（AIやマシンラーニング）**を活用して、故障個所の推定をおこなう技術を研究開発しております。



出来るだけ早い時期に商品としてリリースできるよう尽力してまいりますので、ご期待ください。

# ● 人材育成

ネットワークスキル、クラウドスキルの強化に向けて、教育予算として500万円を投資して参ります。



## ● 第22期 通期連結予想

(単位：百万円)

	23/9期連結期間	24/9期連結期間	前年同期比
売上高	1,900	2,000	+5.2%
営業利益 (利益率)	212 (11.2%)	220 (11.0%)	+3.7% (△0.1%)
経常利益 (利益率)	234 (12.3%)	243 (12.1%)	+3.8% (△0.2%)
親会社株主に帰属する当期純利益 (利益率)	70 (3.7%)	166 (8.3%)	+135.9% (+4.7%)
配当金	6.0円	8.0円	+2円

- 「System Answer シリーズ」のライセンス販売による事業拡大を図るとともに、ITシステムインフラのコンサルティングやソリューションサービスの提供、さらにマーケットの変化に対応したサービスを積極的に展開することで事業領域の拡大を図ることで前年同期比で増収増益。
- 物価高対応や中長期的な成長に備えた給与等水準引き上げ、当社主力製品機能強化等に係る投資に加え、デジタルマーケティングの強化・実施費用等で営業利益率、経常利益率の減少となるものの、補助金の活用により親会社株主に帰属する当期純利益率は前年同期比で向上。



# Appendix



# ● 会社概要

## MISSION

# IT 障害をゼロにする

## VISION

# IT 活用で永続的に成長し、 事業・社会へ貢献する

■ イメージキャラクター：小泉今日子



社名	アイビーシー株式会社 IBC : Internetworking & Broadband Consulting Co.,Ltd.
所在地	【本社】 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル8F 【西日本事業所】 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル3F
上場区分	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：3920）
設立	2002年10月16日
資本金	443,230 千円 (2022年9月30日現在)
代表者	代表取締役 加藤 裕之
事業内容	1) IT システム性能監視ツールの開発 / 販売 / サポート 2) IT システムの性能評価サービス 3) IT システムの設計・構築、コンサルティング 4) IoT 電子証明セキュリティ基盤の開発 / 提供 5) 各種機器、ソフト販売





## ミッション、ビジョンの実現に向けて

### 技術と成長領域に関する展開

これまで培ってきた予兆検知・情報管理・将来予測のノウハウを活かし、AIやデータアナリティクスの領域にも手を広げ、あらゆるデータを組み合わせてIT障害を未然に防ぎます。お客様に求められる製品・サービスを展開していくため、パッケージソフトウェアのSaaS化を進めてまいります。

### DXに関する展開

ソフトウェアライセンス販売による1,000社以上の導入実績の顧客基盤をもとに、DX支援（ネットワークインテグレーション、クラウドインテグレーション、システムインテグレーション、コンサルティング）のサービスを拡充してまいります。

### 運用サービスに関する展開

System Answer シリーズのSaaS型モデルである「SAMS」のプラットフォームをより拡大させ、お客様のセキュリティ管理やコスト管理に対する課題にも取り組んでまいります。



(100%子会社)



(持分法適用関連会社)



# ● 株式会社サンデーアーツ（100%子会社）



2019年4月に簡易株式交換により完全子会社化  
最先テクノロジーによるシステム開発を行っている

ブロックチェーン開発事業

AI開発事業

RPA開発事業

ソフトウェア開発事業

システムエンジニアリングサービス（SES）事業

パッケージソフトウェア開発、販売事業



AI、IoT等の先端技術を活用した研究開発・サービスを創出

**出資先概要**

- ◆ 設立 2019年4月1日
- ◆ 代表者 黄川田 英隆
- ◆ 資本金 資本金100百万円
- ◆ 親会社 株式会社NSD本社（代表取締役社長 今城 義和、東証プライム市場）
- ◆ 2019年4月25日出資
- ◆ 議決権所有割合（20%）の持分法適用関連会社 非常勤役員1名派遣

## お問い合わせ窓口

### 本社

〒 104-0033  
東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル 8F  
TEL : 03-5117-2780 FAX : 03-5117-2781

### 西日本事業所

〒 532-0003  
大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル 3F  
TEL : 06-7653-1014 FAX : 050-3473-4160

### URL

コーポレートサイト → <https://www.abc21.co.jp/>  
ソリューションサイト → <https://system-answer.com/>

## 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

本資料は、当社の財務情報、経営情報等の提供を目的としており、内容についていかなる保証を行うものではありません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び当社以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。本資料に記載しております見通し、予想数値等の将来に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

今後の業績等は、事業運営、経済情勢その他の様々な要因によって予想と異なる可能性がありますので予めご承知おきください。

## 本資料に関するお問い合わせ

アイビーシー株式会社 コーポレートサービス統括部  
TEL:03-5117-2780  
<https://www.abc21.co.jp/contact/ir/>